

体やわらか大会

後期後半、体育委員会が取り組んでいるが「体やわらかチャレンジ」と「体やわらか大会」です。児童の実態を考慮し、コロナ禍でもできる活動として体育委員会で考えてくれました。

実は、今年度の体力テストの結果では、長座体前屈で、県平均を上回っていた学年はありませんでした。つまり、全体的に体が硬いということです。

そこで、家庭でも取り組める活動として「体やわらかチャレンジ」を、そして、その成果を確認する場として「体やわらか大会」が設定されたわけです。コロナ感染拡大予防のために、7日から昼休みに学年別に体育館で行っています。初日に行った6年生大会では、参加者がやや少なかったものの、「わ～。すごい。」「やわらかい。」という称賛の声も聞こえてきました。2日目の5年生大会では、全員が参加してくれました。

子供たちが考えた取り組みです。是非、多くの子供たちに参加してほしいと思います。また、子供たち自身が自己の変容に気づけるように、定期的の実施してほしいと思っています。親子で取り組むなど、家庭でのご協力をお願いします。

今後も、このように子供たち自身が自分たちのことを振り返り、主体的に取り組む活動がどんどん増えることを願っています。



工作を楽しむ

今、学級には、いろいろな工作が展示されています。一つ一つの作品に、心に浮かんだイメージを表現するための様々な工夫がみられます。私は、まず作品の題名や説明を確認します。それをうまく表現できている作品は、すばらしいと感じます。写真の作品は「カメとサメの大冒険」「かわいいピザ」「空に浮かぶ夜桜」という題名です。「カメとサメの大冒険」は、サメやカメの目もパッチリしていて、とても楽しいような雰囲気が伝わってきます。物語ができそうですよね。



